

## II 活動報告

### 1 主な活動日誌抄

#### 【令和2年度】

令和2年6月

6月2日 本館常設展示「I 島根大学のこれまでとこれから」を展示替え

6月2日 本館スポット展示でペリー著『日本遠征記』原本と地図を展示

令和2年7月

7月27日 令和2年度第1回総合博物館運営会議開催

7月31日～9月28日 本館で企画展「大集合！松江・出雲の化石展」開催

令和2年8月

8月31日 『総合博物館年報 平成29・30・31年度』刊行

令和2年9月

9月17日 団体見学（島根県立松江南高校）

令和2年10月

10月7日 総合博物館紹介動画をYouTubeにアップ

10月21日 団体見学（松江市立川津小学校）

令和2年11月

11月16日 団体見学（松江市立川津小学校）

11月18日 団体見学（松江市立川津小学校）

11月19日 団体見学（松江市立川津小学校）

令和2年12月

12月21日 令和2年度第2回総合博物館運営会議開催

令和3年2月

2月15日 令和2年度第3回総合博物館運営会議開催

令和3年3月

3月5日 団体見学（邑南町立日貫小学校）

#### 【令和3年度】

令和3年4月

4月17日 ニュースレター『SHIMADAI MUSE』Vol.7 発行

4月17日 分館でミニ企画展「旧制松江高等学校写真展 in 島根大学旧奥谷宿舎」開催

令和3年5月

5月15日 第119回アシカル講座「こうしてできた！島根半島」開催

令和3年6月

6月12日 第120回アシカル講座「島根半島の生き物たち」開催

令和3年7月

7月8日 令和3年度第1回総合博物館運営会議開催

7月14日 団体見学（鳥取県立倉吉西高校）

7月15日 団体見学（島根県立横田高校）

7月21日 団体見学（広島県立西城紫水高校）

令和3年8月

8月2日～10月11日 企画展「鑪×TATARA」開催

8月21日 第121回アシカル講座「島根半島の民俗文化」開催

令和3年9月

9月11日 第122回アシカル講座「日本遺産・日が沈む聖地出雲」開催  
令和3年10月  
10月11日 団体見学（鳥取市青葉公民館）  
10月12日 団体見学（島根県立江津高校）  
10月14日 団体見学（島根県立大田高校）  
10月22日 団体見学（松江市立川津小学校）  
10月26日 団体見学（島根県立大東高校）  
10月27日 団体見学（岡山県立高梁高校）  
10月27日 団体見学（島大アンバサダー）  
令和3年11月  
11月27日 団体見学（鹿島歴史民俗資料館）  
11月27日 第123回アシカル講座「栄養面からみる縄文食と先史時代の北欧食」開催  
令和3年12月  
12月4日 第124回アシカル講座「鉄器が変えた！西日本・朝鮮半島の先史社会」開催  
12月9日 団体見学（島根県立松江農林高校）  
令和4年1月  
1月8日 団体見学（米子児童クラブ）  
1月8日 第125回アシカル講座『『伝世鏡論』再考』開催  
令和4年2月  
2月19日 第126回アシカル講座「弥生・原三国時代の日韓における副葬水晶玉について」開催  
令和4年3月  
3月7日 『島根まるごとミュージアム』ネット公開  
3月10日 令和3年度第2回総合博物館運営会議開催  
3月19日 第127回アシカル講座「木製品からみた3世紀の出雲と大和」開催

#### 【令和4年度】

令和4年4月  
4月1日 本館アシカル累計入館者数が3万人に。  
4月23日～6月26日 分館で写真展「ハンス・シュワルベ博士がいた頃」開催  
令和4年6月  
6月11日 第128回アシカル講座「島根県にも津波はやって来る！山陰地域の津波の履歴」開催  
6月30日 令和4年度第1回総合博物館運営会議開催  
令和4年7月  
7月4日 団体見学（鳥取城北高校）  
7月9日 第129回アシカル講座「これからの川とのお付き合いー正しく知り、正しく恐れるー」開催  
7月21日 団体見学（広島県立西城紫水高校）  
7月23日～9月10日 企画展「備えあれば憂いなし！山陰の自然災害」開催  
7月23日 第130回アシカル講座「島根県内の土砂災害の特徴について」開催  
令和4年8月  
8月5日 夏休み子どもミュージアム体験教室「中海の藻場にすむ生き物を観察しよう！」開催  
8月6日 第131回アシカル講座「山陰で確認されている活断層の分布と地震」開催  
8月8～10日 オープンキャンパス企画「展示クイズに答えて島大グッズをゲットしよう！2022」開催  
8月16日 団体見学（バングラデシュ訪日団）  
8月27日 第132回アシカル講座「山陰にも大きな被害を与えた太平洋側の巨大地震」開催  
令和4年9月  
9月1日 団体見学（韓国訪日団）  
9月10日 第133回アシカル講座「建築物の地震被害と最新の耐震建築」開催  
9月21日 安来市立伯太中学校生徒がキャンパスツアー参加

令和4年10月

10月11日 団体見学（島根県立江津高校）

10月11日～令和5年2月5日 ニュース展示「昭和30年代のさく葉標本」開催

10月12日 団体見学（島根県立飯南高校）

10月13日 団体見学（島根県立大田高校）

10月13日 団体見学（島根県立江津高校）

10月16日 第16回島根まるごとミュージアム体験ツアー「出雲大社の境外社に参拝する」開催

10月25日 団体見学（島根県立大東高校）

10月27日 団体見学（タイ訪日団）

令和4年11月

11月14日 団体見学（島根県立隠岐島前高校）

11月28日 団体見学（倉吉東高校）

令和5年2月

2月6日～4月17日 ニュース展示「シジミ汁はなぜ白い?!」開催

2月10日 団体見学（インド訪日団）

2月14日 団体見学（ベトナム訪日団）

2月18日 第134回アシカル講座「ジオパークの宝石～弥生時代から古墳時代の出雲産玉類」開催

令和5年3月

3月18日 第135回アシカル講座「島根半島・宍道湖中海ジオパークのこれまでとこれから」開催

3月25日 第136回アシカル講座「宍道湖周辺の地熱・鉱物資源」開催

3月29日 令和4年度第2回総合博物館運営会議開催

## 2 標本資料類などの収集、整理・保管、調査研究

### (1) 標本資料類などの収集

下記の資料を受け入れた（表1）。

表1 受入資料一覧

資料名	受入日	受入元	数量	備考
化石（アロデスムス 右上腕骨）	2020.12.25	林広樹（島根大学総合理工学部准教授） （主森亘氏・河野重範氏・林広樹氏 採集）	1点	出雲市 多伎町 小田海岸 布志名層出土
体重計	2021.10.22	島根大学保健管理センター	1台	
視力検査機	2021.10.22	同上	1台	
『昭和五年度 松江高等学校消耗品受払簿』	2021.11.17	島根大学生物資源科学部	1冊	
『大正拾四年度 松江高等学校消耗品受領票』	2021.11.17	同上	1冊	
キジ剥製	2021.11.26	個人（松江市宍道町）	1点	
スズメバチの巣	2021.12.13	同上	1点	1988.2 採集
旧制松江高等学校 ベルトバックル	2022.1.18	個人（旧制松江高校卒業生のご遺族）	1点	松江高等学校第12期文科甲類・木田橋孔様の遺品 裏面に「松江高等学校校友会」とあり
旧制松江高等学校 帽章	2022.1.18	同上	1点	松江高等学校第12期文科甲類・木田橋孔様の遺品
旧制松江高等学校 籠球部記念メダル	2022.1.18	同上	1点	松江高等学校第12期文科甲類・木田橋孔様の遺品。 1932年
旧制松江高等学校 籠球部ユニフォーム?のエンブレム	2022.1.18	同上	1点	松江高等学校第12期文科甲類・木田橋孔様の遺品 1932年
アオイガイ	2022.3.31	石賀裕明（島根大学総合理工学部教授）	39点	
島根大学文理学部で使用されていたクリノメーター（地質用羅盤）	2022.12.21	個人	1点	島根大学文理学部1期生が使用していたもの
松高清水教授 力学及物理学講義プリント	2023.2.28	教育学部 水野薫研究室	1箱	松江高等学校で使用されていたもの。箱入り 旧理学部2号館に保管してあったもの
物理学実験書 松江高等学校物理学教室編	2023.2.28	教育学部 水野薫研究室	2冊	松江高等学校で使用されていたもの 旧理学部2号館に保管してあったもの
タイガー手廻り計算器	2023.2.28	北村憲二（島根大学名誉教授）	1台	県立島根農科大学で使用されていたもの

### (2) 標本資料類などの整理・保管

総合博物館所蔵資料は、総合博物館収蔵室において適切な環境のもとに整理・保管した。また、「島根大学標本資料類データベース」に登録するため、昆虫標本をはじめとした所蔵資料などのデータ整理・デジタル写真撮影を進めた。

また、下記の資料を他機関に貸し出した。

#### ①資料名 島根県内の化石 15点

期 間 令和2年7月6日～10月6日  
貸出先 モニュメント・ミュージアム来待ストーン  
理 由 企画展「化石のひみつー化石でわかる島根のジオー」で展示するため。

**②資料名 ムカシエンコウガニ化石 1点、アオイガイの殻（現生） 1点**

期 間 令和3年2月26日～4月19日  
貸出先 出雲科学館  
理 由 企画展「探検！島根のジオパーク」で展示するため。

**③資料名 ダイオウシラトリガイ化石 1箱、クジラ肋骨化石 1点、ムカシエンコウガニ化石 1点、アオイガイの殻（現生） 1点**

期 間 令和5年3月1日～4月19日  
貸出先 出雲科学館  
理 由 企画展「化石点 島根で見つかる化石たち」で展示するため。



受入資料 化石（アロデスムス 右上腕骨）



受入資料 旧制松江高等学校 帽章



受入資料 島根大学文理学部で使用されていたクリノメーター（地質用羅盤）



受入資料 県立島根農科大学（島根大学農学部前身校）で使用されていたタイガー手廻計算器

### 3 博物館学および標本資料類などに係る学生教育

#### (1) 学芸員養成課程科目

令和2～4年度、総合博物館が開講した科目は表2の通りである。「博物館法施行規則」の一部改正によって、学芸員資格取得に必要な単位数が大幅に増加したことを受けて、平成24年度から新カリキュラムによる授業を開始している。

令和2～4年度における学芸員資格取得に必要な科目の受講者数は、表3の通りである。博物館概論で3学部合計59～65名を数え、近年は減少傾向にある。課程の最終段階で受講する博物館実習Ⅲ（館園実習）では、3学部合計40～48名を数える。

なお、令和2～4年度に博物館実習Ⅲ（館園実習）で学生を受け入れていただいた学外の施設は下記の通りである。記して感謝したい。

- ・法文学部：島根県立美術館・島根県立古代出雲歴史博物館・松江歴史館・鳥取県立博物館（令和3年度）
- ・生物資源科学部：島根県立三瓶自然館・島根県立宍道湖自然館
- ・総合理工学部：モニュメントミュージアム来待ストーン・奥出雲多根自然博物館（令和2・4年度）  
また、新型コロナウイルス感染症流行のため、宿泊を伴う奥出雲多根自然博物館における令和3

表2 学芸員資格取得に必要な科目（令和元年度以降入学生・編入生・科目等履修生）

博物館法施行規則に定める科目及び単位		法文学部学生	生物資源科学部学生	総合理工学部学生
科目	法定単位			
生涯学習概論	2	生涯教育論（後期集中）（R2＊熊谷慎之輔、R3・4＊仲野寛） R2・3 オンライン授業		
博物館概論	2	選択	博物館概論A（前期）（會下和宏）R2・3 オンデマンド授業 博物館概論B（前期）（R2・3 會下和宏、R4＊松岡敬二） R2・3 オンデマンド授業	
博物館資料論	2	博物館資料論（前期）（會下和宏）R2・3 オンデマンド授業		
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論（後期）（＊沢田正明・會下和宏）		
博物館展示論	2	選択	博物館展示論A（後期）（會下和宏）R2 オンデマンド授業 博物館展示論B（後期集中）（＊菅田康彦）R2・3 オンライン授業	
博物館経営論	2	博物館経営論（後期集中）（＊永井 泰）R3 オンライン授業		
博物館情報・メディア論	2	選択	博物館情報・メディア論A（後期）（會下和宏） R2 オンデマンド授業 博物館情報・メディア論B（後期）（會下和宏） R2.3 オンデマンド授業	
博物館教育論	2	教育原論Ⅱ（前期）（＊岡部美香）2単位		教育原論Ⅱ（後期集中）（＊岡部美香）2単位
		博物館教育論（後期）（會下和宏）1単位 オンデマンド授業		
博物館実習	3	・博物館実習Ⅰ（学内実習）（後期）（會下和宏）1単位 ・その他、専門科目の実習で振替		博物館実習Ⅰ（学内実習） →専門科目の実習で振替
		博物館実習Ⅱ（学内実習）（前期）（會下和宏）1単位 R2 オンデマンド授業		博物館実習Ⅱ（学内実習）（前期）（石田秀樹・宮永龍一・林 蘇娟・秋廣高志・久保満佐子・＊高屋茂男）1単位 R2 オンデマンド授業
		博物館実習Ⅲ（館園実習）（前期集中）（會下和宏）1単位		博物館実習Ⅲ（館園実習）（後期集中）（石田秀樹・宮永龍一・林 蘇娟・秋廣高志・久保満佐子）1単位
		博物館実習Ⅲ（館園実習）（後期集中）（會下和宏）1単位		

表3 学芸員関係科目の受講者数

年度	博物館概論				博物館実習Ⅲ（館園実習）			
	法文学部	生物資源 科学部	総合理 工学部	合計	法文学部	生物資源 科学部	総合理 工学部	合計
H 21	51 (4)	34	43	128	52 (2)	32	9	93
H 22	36	49	47	132	34 (4)	14	10	58
H 23	32 (1)	32	17 (1)	81	33 (2)	22	19 (1)	74
H 24	32	29	36	97	27	24	9	60
H 25	34	38	17	89	20	20	14	54
H 26	40	23	28	91	17 (1)	19	10	46
H 27	37	16	40	93	28 (1)	14	8	50
H 28	33	28	21	82	24	24	18	66
H 29	26	29	30	85	26 (1)	16	7	49
H 30	26	28	24	78	13	14	4	31
H 31	27	20	15 (1)	62	18	17	22 (1)	57
R 2	25	21	17	63	23 (1)	15	6	44
R 3	23	18	24	65	22 (2)	13	13	48
R 4	22	18	19	59	18	11	11	40

※人数は未修者なども含む。／（ ）内は社会人・大学院受講生（科目等履修生）の人数。

年度の博物館実習Ⅲは、急遽中止することになり、代替措置として島根大学総合博物館で実習を行った。

## （2）共通教養科目（総合科目）「地域博物館へのいざない」

後期に共通教養科目（総合科目）の「地域博物館へのいざない」を開講した。概要は以下の通りである。

授業科目名 地域博物館へのいざない

授業の目的 島根大学で学ぶ学生は、県内外の出身地を問わず、島根県の自然・歴史・文化や本学の学校史、顕著な業績をあげた教官・卒業生などについての知識が希薄であるように見受けられる。そこで本授業では、「ミュージアム」「フィールド」「モノ」をキーワードにして、島根県の自然・歴史・文化や島根大学の学校史・著名人（自校教育）などの基礎的事項について、学際的に学ぶものとする。あわせて、公開授業として地域市民にも聴講してもらう。

達成目標 島根県・島根大学について、広い基礎知識を得てもらうようにする。本授業を通して、学生や地域市民のなかに、島根県や本学に対する誇り・愛着が醸成されることを期待する。

科目 共通教養科目・選択



博物館実習Ⅱ（法文学部学生向け）

島根大学総合博物館アシカル展示室で展示解説を実践する受講生（R4.5.18）



共通教養科目「地域博物館へのいざない」

（R4.10.21）

対象 1年次、市民

単位数 2単位

曜日・時間 後期・金曜日・3・4時限

担当教員 會下和宏（島根大学総合博物館 教授）、角田徳幸（島根県教育委員会）、小泉凡（小泉八雲記念館 館長）、中村唯史（島根県立三瓶自然館）

評価 受講登録者数は、令和2年度が75名、令和3年度が185名、令和4年度が250名。1回分は、旧制松江高校ドイツ人教師宿舎として建てられた島根大学旧奥谷宿舎（総合博物館分館、松江市奥谷町）やその周辺を散策し、歴史的な町の風景の価値、これらの保護と活用について考えさせた。また他1回分は、総合博物館アシカル展示室において前身校の時代から収集されてきた標本類の見学を行った。

フィールドワークや直接的体験を重視した授業を行った内容は、受講生からも好評だった。令和4年度の受講生に対する授業アンケートでは、「問：総合的に判断して、この授業に満足した」に対して、「そう思う」（62 / 92）、「少しそう思う」（28 / 92）の回答が得られており、満足度は概ね高かった。

## 4 標本資料類などに係る普及啓発及び地域貢献

島根大学憲章に明記された、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」という本学の理念を具体的に実現させるために、ミュージアムミッションに沿って、以下のような、様々な展示活動・教育普及プログラムを開発・企画・実施した。

### (1) 入館者数

#### ①島根大学総合博物館アシカル（本館、表4）

後述するように、島根大学総合博物館アシカルは、令和30年6月にオープンし、原則、祝日を除く月～土曜日の午前10時～午後5時に開館している。

新型コロナウイルス感染症対策として臨時休館や団体見学の制限などを行ったため、令和元年度に約9,500名あった入館者数は、令和2年度には3,650名に激減した。しかし、令和4年度は約5,900名まで回復をみせており、今後は、さらなる団体見学受け入れやイベント開催を行って、より集客をはかっていきたい。

#### ②島根大学旧奥谷宿舎（分館、表4）

後述するように、学外の松江市奥谷町にある島根大学旧奥谷宿舎（分館、旧制松江高等学校外国人宿舎）は、平成21年10月に修復工事を終えてオープンし、原則、土日祝日のみ午前10時～午後5時に開館している。

入館者数は表4の通りである。新型コロナウイルス感染症対策として臨時休館を行ったため、令和元年度に約1,050名あった入館者数は、令和2年度には約400名に激減した。しかし、令和4年度は約800名まで回復をみせており、今後は、さらなる集客をはかっていきたい。

### (2) 常設展示

#### ①島根大学総合博物館アシカル（本館）

場 所 松江市西川津町1060 島根大学松江キャンパス 生物資源科科学部3号館1階

開館日 月～土曜日 10:00～17:00

休館日 日曜日、国民の祝日、振替休日、年末年始、その他入試日など

展示室面積 約222㎡

その他 入館無料

下記の4つの展示大テーマのほか、学生サークルが管理する水槽展示などから構成される。

#### ■常設展示大テーマⅠ「島根大学のこれまでとこれから」

明治8年からの長い歴史を有する島根大学の過去の写真や資料などから、本学の歴史をふりかえる。さらに、現在の本学における教育研究について紹介し、島根大学の将来を展望する。

#### ■常設展示大テーマⅡ「島根の自然史」

主に島根県をはじめ、山陰や日本列島などの自然史資料の陳列型展示。主な展示資料として、世界最古のアユ化石、パレオパラドキシア骨格復元模型、国内最古のニホンアシカ剥製標本、唯一のオキウマ骨格標本などをはじめ、岩石・鉱物・化石・動植物・昆虫などがある。

#### ■常設展示大テーマⅢ「古代出雲の世界」

島根県の考古学の基礎を築かれた故山本清・島根大学名誉教授が収集された県内各地の資料（法文学部考古学研究室所蔵）や島根大学キャンパスから出土した資料など、おもに縄文時代から平安

表4 入館者数一覧

	総合博物館・本館 (月～土開館)	旧奥谷宿舎・分館 (土日祝日のみ開館)	合計
平成30年度計	12,152	1,152	13,304
平成31(令和元)年度合計	9,502	1,050	10,552
2.4	71	—	71
2.5	—	—	—
2.6	235	—	235
2.7	263	14	277
2.8	654	27	681
2.9	581	45	626
2.10	538	47	585
2.11	419	82	501
2.12	260	48	308
3.1	103	38	141
3.2	297	63	360
3.3	229	44	273
令和2年度合計	3,650	408	4,058
3.4	696	76	772
3.5	409	130	539
3.6	414	66	480
3.7	394	42	436
3.8	721	17	738
3.9	334	32	366
3.10	813	46	859
3.11	334	215	560
3.12	413	23	436
4.1	119	13	132
4.2	—	—	—
4.3	—	—	—
令和3年度合計	4,658	660	5,318
4.4	414	26	440
4.5	444	72	516
4.6	565	60	625
4.7	625	66	691
4.8	903	27	930
4.9	375	45	420
4.10	628	307	935
4.11	371	35	406
4.12	487	22	509
5.1	254	27	281
5.2	314	35	349
5.3	493	66	559
令和4年度合計	5,873	788	6,661
平成30～令和4年度総計	35,835	4,058	39,893

※新型コロナ対策のため、下記の期間休館

本館：令和2年4月4日(土)～5月31日(日)／令和2年12月29日(火)～令和3年1月16日(土)／令和4年1月14日(金)～3月31日(木)

分館：令和2年4月4日(土)～7月19日(日)／令和2年12月29日(火)～令和3年1月17日(日)／令和4年1月14日(金)～4月22日(金)

時代頃までの考古資料を時代別に展示。

#### ■常設展示大テーマⅣ「島根の歴史と文化」

島根の歴史資料や民俗資料などを展示。主な展示資料として、出雲・石見・隠岐の国絵図、江戸時代初期の松江城下町絵図、奥出雲の伝統工芸品そろばんの製作道具などがある。

#### ②島根大学旧奥谷宿舎（分館、旧制松江高等学校外国人宿舎）

場 所 松江市奥谷町 140

開館日 土・日曜日、国民の祝日、振替休日 10：00～17：00

休館日 平日、年末年始

その他 入館無料

#### ■常設展示「写真が語る島根大学の歴史と旧奥谷宿舎」

島根大学旧奥谷宿舎（分館）の1階常設展示室①②において、島根大学とその前身校（旧制松江高校・島根師範学校・島根県立農科大学・島根医科大学など）および島根大学旧奥谷宿舎（旧制松江高等学校外国人宿舎）の写真、関連資料などを展示。

### （3）企画展示など

#### ①令和2年度島根大学総合博物館アシカル企画展「大集合！松江・出雲の化石展」

主催 島根大学総合博物館

共催 島根大学ジオパークプロジェクトセンター

会期 令和2年7月31日（金）～9月28日（月） 10：00～17：00

会場 島根大学総合博物館アシカル

内容 松江・出雲市域における新生代第三紀中新世の古浦層・大森層・布志名層・松江層出土化石を展示し、身近な場所で産出する化石と当時の環境について紹介する。

<主な展示品>

- ・内田賢治化石コレクション（採取地：斐伊川放水路など）
- ・メガロドンの歯
- ・世界最古のアユ化石
- ・化石クリーニングの道具など

評価 期間中の入館者数1,256名で家族での見学が比較的多かった。見学者からは、「世界最古のアユ化石にひきつけられた」、「メガロドンの歯の大きさに驚いた」、「身近な場所で多くの化石が出土することが分かった」などの感想をいただいた。

#### ②旧制松江高等学校創立100周年記念展示「嵩のふもとに」

主催 島根大学附属図書館・島根大学総合博物館・島根大学法文学部・島根大学総合理工学部

後援 島根大学法文学部同窓会・島根大学総合理工学部同窓会・松江歴史館・山陰ケーブルビジョン株式会社

##### 【第1期】

会期 令和2年10月1日（木）～11月1日（日）

会場 島根大学附属図書館本館 1階展示室

##### 【第2期】

会期 令和2年11月7日（土）～12月6日（日）（土日祝日のみ開館）

会場 島根大学旧奥谷宿舎（旧制松江高等学校外国人宿舎・総合博物館分館）

内容 島根大学の前身校の一つ「松江高等学校（通称：淞高）」は、1920（大正9）年、全国で17番目の旧制高等学校である。この展示では、創立100周年を記念して淞高に関する写真・資料などから当時をふりかえる。展示パネル・キャプションなどは附属図書館が作成。

評価 島根大学旧奥谷宿舎を会場にした第2期の入館者数85名。短期間のため入館者数は限られたが、旧制松江高等学校に関わる唯一現存する建造物である島根大学旧奥谷宿舎を会場に意義深い展示となった。

③島根大学総合博物館ミニ企画展「旧制松江高等学校写真展 in 島根大学旧奥谷宿舎」(松江歴史館企画展「旧制松江高等学校」コラボ企画)

主催 島根大学総合博物館

共催 松江歴史館

会期 令和3年4月17日(土)～6月27日(日) 土日祝日のみ 10:00～17:00

会場 島根大学旧奥谷宿舎(総合博物館分館)

内容 旧制松江高等学校第1期生入学100周年を記念した写真展。同時期に開催された松江歴史館企画展「旧制松江高等学校」とのコラボ企画として開催。

<主な展示品>

・旧制松江高等学校の写真

評価 期間中の入館者数274名。約750mの距離に位置する島根大学旧奥谷宿舎と松江歴史館の双方を見学された来館者が多く、連携の効果がみられた。

④令和3年度島根大学総合博物館アシカル企画展「鑪(たたら)×TATARA」

主催 島根大学総合博物館・島根大学次世代たたら協創センター(NEXTA)

会期 令和3年8月2日(月)～10月11日(月)

会場 島根大学総合博物館アシカル展示室

内容 平成30年度に新しく設置された島根大学次世代たたら協創センターとのコラボ企画。古くから脈々と受け継がれてきた島根の「たたら」の歴史を概観し、こうしたモノ作りの土壌を受け継いで誕生した世界トップクラスの金属材料研究拠点・島根大学次世代たたら協創センターの研究内容を紹介した。

<主な展示品>

・隕鉄・磁鉄鉱・赤鉄鉱・花崗岩・真砂土・砂鉄(当館所蔵)

・弥生時代の鉄器(島根県美郷町沖丈遺跡出土、美郷町教育委員会所蔵)

・14～15世紀の製鉄遺跡の炉壁(邑南町畑ヶ迫口製鉄遺跡出土、邑南町郷土館所蔵)

・16～17世紀初め製鉄遺跡の炉壁・鉄滓(邑南町立岩3号製鉄遺跡出土、邑南町郷土館所蔵)

・鍛冶炉の羽口・鍛冶滓(邑南町大金屋大鍛冶屋跡出土、邑南町郷土館所蔵)

・銑鉄のインゴット、玉鋼など(邑南町郷土館所蔵)

・島大生がたたら製鉄の実習で製作した鋸(ケラ)、たたら製鉄で使用する木炭(和鋼博物館所蔵)

・たたら製鉄に関する文献資料(島根大学附属図書館所蔵)

・NEXTAが研究開発した最先端金属素材・製品・NEXTA紹介映像など(島根大学次世代たたら協創センター所蔵)

・たたら製鉄紹介映像など(株式会社田部)

・日本刀に関する映像(ワック株式会社)

評価 期間中の入館者数1,485名。来館者からは、「島根県内に展開した「たたら製鉄」の構造・仕組みや歴史について分かりやすく理解できた」、「島根大学が取り組む最先端の金属材料研究の内容について期待したい」といった感想をいただいた。

⑤島根大学旧奥谷宿舎写真展「ハンス・シュワルベ博士がいた頃」

主催 島根大学総合博物館

会期 令和4年4月23日(土)～6月26日(日) 土日祝日のみ 10:00～17:00

会場 島根大学旧奥谷宿舎(旧制松江高等学校外国人宿舎・総合博物館分館)

内容 ハンス・シュワルベ博士(Dr. Hans Schwalbe)は、1939(昭和14)年11月から1945(昭和20)年8月まで旧制松江高等学校(島根大学の前身校)でドイツ語の教鞭をとり、この間、

島根大学旧奥谷宿舎（旧制松江高等学校外国人宿舎）で、奥様や3人の息子たちとともに穏やかに暮らした。令和元年にシュワルベ博士のご遺族や市民の方から寄贈された写真をもとに、かつて松江の地で暮らしたハンス・シュワルベご一家の様子を振り返った。

<主な展示品>

- ・ハンス・シュワルベ博士やご家族の写真
- ・ハンス・シュワルベ博士の奥様がドイツの実家に宛てた手紙

評価 ハンス・シュワルベ博士ご家族と親交があった見学者から御礼の手紙をいただくなどの反応があった。期間中の入館者数 158 名。

#### ⑥令和4年度島根大学総合博物館アシカル企画展「備えあれば憂いなし！山陰の自然災害」

主催 島根大学総合博物館・島根大学自然災害軽減教育研究センター

会期 令和4年7月23日（土）～9月10日（土）

会場 島根大学総合博物館アシカル展示室

内容 島根大学自然災害軽減教育研究センターとのコラボ企画。火山噴火、地震、津波、洪水、斜面災害の概要、山陰における発生状況などを展示パネル・関連資料を用いて展示し、島根大学自然災害軽減教育研究センターの活動・研究内容を紹介した。

<主な展示品>

- ・雲仙普賢岳のパン皮状火山弾など
- ・様々な地域の火山岩
- ・断層岩（島根県宍道断層）
- ・鳥取県西部地震における噴砂の地層断面剥ぎ取り標本（松江市江島）
- ・津波の痕跡を示すコア標本（鳥取県北栄町）
- ・ネパールの湖で見つかった津波の痕跡を示す地層断面剥ぎ取り標本
- ・三瓶山火山灰堆積地域で出土した縄文土器・土偶など（島根県飯南町五明田遺跡・万場Ⅱ遺跡など）
- ・斜面災害が記述された『銀山旧記』
- ・ジオスライサー
- ・転倒ます型雨量計
- ・地震計
- ・島根大学総合理工学部が開発した地震から建物を守る大変形制震部材

評価 期間中の入館者数 1,226 名。見学者からは、「山陰でも様々な自然災害が発生することが改めて分かり、正しく備えることの重要性を認識した」などの感想をいただいた。

#### （4）アシカル・ニュース展示

本館アシカルで1～2か月程度の期間で開催する速報展・スポット展などのニュース性を重視した簡易な展示で、令和4年度から開始した。

##### ①島根大学のさく葉標本

日時 令和4年10月11日（火）～12月28日（水）

内容 昭和30年代に採取・作成されたさく葉標本を展示。

##### ②「しじみ汁はなぜ白い?!」

日時 令和5年2月6日（月）～4月17日（月）

内容 島根大学生物資源科学部の研究チームが、英国の科学誌「Scientific Reports」に発表した内容を分かりやすく紹介した。しじみ汁が白く濁っている原因が、たんぱく質の一種である「トロポミオシン」であることを解説パネルとしじみ汁を使って展示。

2020年度  
島根大学総合博物館アシカル企画展

島根大学は、長年の発掘調査によって多くの化石を収集してきました。  
この企画展では、松江・出雲の身近な場所で見つかった化石たちをご紹介します。

# 大集合！ 松江・出雲の化石展

2020 7/31(金) - 9/28(月)

陸が広がった、約1,000万年前……

世界最古のアユ  
ムカシエビコブエ  
カワモエビツカイ  
ヤマガカイ  
イヌモ/アノコトイ  
カマガロトノ・メカロトノ

島根大学の皆様へのお楽しみ  
新型コロナウイルスの感染を防ぐために、お楽しみを安全に楽しみたいと思います。  
・マスクの着用/手指の消毒  
・非接触体温計による検温  
・連絡先のご記入(代表者のみ)  
・同時に10名を超えない場合の入館制限

島根大学総合博物館アシカル  
Shimane University Museum ASHIKARU  
〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学松江キャンパス  
生物資源科学部3号館1階 TEL:0852-32-6496

■開館日時：平日・土曜日 10:00～17:00  
■休館日：日曜日・祝日・8/13(木)～15(土)  
■入館無料

主催：島根大学総合博物館アシカル 共催：島根大学シカゴ（フクロプロジェクト）センター

令和2年度島根大学総合博物館アシカル企画展「大集合！松江・出雲の化石展」(R2.7.31～9.28)

2021年度  
島根大学総合博物館アシカル企画展

たたら  
鑪  
×  
TATARA

古代から薪々と受け継がれてきた島根の「たたら」  
そして、この地に生まれた世界トップクラスの研究拠点・島根大学 NEXTA の「TATARA」  
この夏は、「アシカルで たたら」と「TATARA」にふれてみよう！

2021 8/2(月) - 10/11(月)

会場 島根大学総合博物館アシカル  
Shimane University Museum ASHIKARU  
〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学松江キャンパス  
生物資源科学部3号館1階 TEL:0852-32-6496

■開館日時：平日・土曜日 10:00～17:00  
■休館日：日曜日・祝日・8/13(金)～14(土)  
■入館無料

会場 NEXTA

※新型コロナウイルスのご協力をお願いいたします  
・マスクの着用/手指の消毒  
・非接触体温計による検温  
・連絡先のご記入(代表者のみ)  
・同時に10名を超えない場合の入館制限

主催：島根大学総合博物館(ASHIKARU)・島根大学次世代たたら協創センター(NEXTA)

令和3年度島根大学総合博物館アシカル企画展「鑪(たたら)×TATARA」(R3.8.2～10.11)

島根大学  
島根大学旧奥谷宿舎 写真展  
ハンス・シュワルベ博士がいた頃  
Dr. Hans Schwalbe in Matsue, 1939 - 1945

ハンス・シュワルベ博士 (Dr. Hans Schwalbe) は、1939 (昭和14) 年6月から1945 (昭和20) 年8月まで旧制松江高等学校 (島根大学の前身校) でドイツ語の教授をとりました。この間、島根大学旧奥谷宿舎 (旧制松江高等女子校外国人宿舎) で、数種と3人の女子たちとともに穏やかに暮らされました。  
ご家族や市民の方からいただいた写真をもとに、かつて松江の地で暮らしたハンス・シュワルベ博士一家の様子を振り返ってみましょう。

外国人宿舎に受付センター 1939  
授業を行くハンス・シュワルベ博士  
奥谷で 1941

会期 2022 (令和4) 年 4月23日(土)～6月26日(日) (土日祝日のみ開館)  
10:00～17:00 休館日：平日

会場 島根大学旧奥谷宿舎 (旧制松江高等学校校外国人宿舎・総合博物館分館)  
〒690-0872 松江市奥谷町140 TEL:0852-33-7032

入館無料！  
駐車場2台分あり

島根大学の皆様へのお楽しみ  
新型コロナウイルスの感染を防ぐために、お楽しみを安全に楽しみたいと思います。  
・マスクの着用/手指の消毒  
・非接触体温計による検温  
・連絡先のご記入(代表者のみ)  
・同時に10名を超えない場合の入館制限

主催・お問い合わせ：島根大学総合博物館  
TEL・FAX: 0852-32-6496 E-mail: museum@riko.shimane-u.ac.jp

島根大学旧奥谷宿舎写真展「ハンス・シュワルベ博士がいた頃」(R4.4.23～6.26)

2022年度  
島根大学総合博物館アシカル企画展

備えあれば憂いなし！  
山陰の自然災害

2022 7/23(土) - 9/10(土)

火山噴火・地震・津波・洪水・地すべり  
私たちの周りには様々な天災がいつぱい

主な展示物  
・噴砂のはき取り機本  
・噴砂機  
・津波者の写真  
・津波被害者のコア  
・土石流の古記録 など

会場 島根大学総合博物館アシカル  
Shimane University Museum ASHIKARU  
〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学松江キャンパス  
生物資源科学部3号館1階 TEL:0852-32-6496

■開館日時：平日・土曜日 10:00～17:00  
■休館日：日曜日・祝日・8/13(土)・8/15(月)  
■入館無料

※新型コロナウイルスのご協力をお願いいたします  
・マスクの着用/手指の消毒  
・非接触体温計による検温  
・連絡先のご記入(代表者のみ)

主催 島根大学総合博物館・島根大学自然災害軽減教育研究センター  
ASHIKARU × Center for Natural Disaster Reduction Research and Education

令和4年度島根大学総合博物館アシカル企画展「備えあれば憂いなし！山陰の自然災害」(R4.7.23～9.10)

## (5) 団体見学・キャンパスツアーなど

### ①団体見学・キャンパスツアー

内容 展示室に来館した見学者に分かりやすく展示解説した。また松江キャンパス各所をめぐるキャンパスツアーは、下記の基本コースを案内した。

<基本コース(約1時間半)>

正門守衛室前集合

①国登録有形文化財「島根大学正門」・旧制松江高等学校石碑

②総合理工学部3号館1F研究紹介コーナー・3号館高層階からキャンパスや市街地を展望

③総合博物館アシカル本館

⑤附属図書館本館、大学ホールなど

<令和2年度実績(学外団体のみ)>

松江市立川津小学校、邑南町立日貫小学校、島根県立松江南高校

<令和3年度実績(学外団体のみ)>

鳥取県立倉吉西高校、島根県立横田高校、広島県立西城紫水高校、鳥取市青葉公民館、島根県立江津高校、島根県立大田高校、松江市立川津小学校、島根県立大東高校、岡山県立高梁高校、鹿島歴史民俗資料館、島根県立松江農林高校、米子市児童クラブ

<令和4年度実績(学外団体のみ)>

鳥取城北高校、広島県立西城紫水高校、バンングラデシュ訪日団、韓国訪日団、安来市立伯太中学校、島根県立江津高校、島根県立飯南高校、島根県立大田高校、島根県立大東高校、タイ訪日団、島根県立隠岐島前高校、鳥取県立倉吉東高校、インド訪日団、ベトナム訪日団、受験生・保護者など  
評価 新型コロナウイルス感染症流行のため、令和2年度は激減した。令和3年度以降、高校からの団体見学が再開され、令和4年度にかけて回復傾向にある。

### ②島根大学オープンキャンパス企画「ミュージアム展示クイズに答えて島大グッズをゲットしよう！」

日時 (※令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

(※令和3年度 新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

令和4年8月8日(土)～10日(日) 9:00～17:30

場所 島根大学総合博物館アシカル展示室

内容 展示を見学し、展示内容に係るクイズに答えてもらう。全問正解で島根大学オリジナルグッズを進呈。

評価 令和4年度は397名の高校生などがクイズに取り組み、展示室を熱心に見学してもらうことができた。

### ③学園祭企画「クイズに答えてミュージアムグッズをもらおう！」

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

## (6) アシカル講座・フィールド体験ツアー・子どもミュージアム体験教室など

### ①アシカル講座

■令和2年度島根大学総合博物館アシカル講座第1ステージ「ぶらり探訪・島根半島」(まつえ市民大学連携講座)

(※新型コロナウイルス感染症対策のため開催延期)

■令和2年度島根大学総合博物館アシカル講座第2ステージ「モノが語る先史時代の出雲・大和・韓半島」(まつえ市民大学連携講座)

(※新型コロナウイルス感染症対策のため開催延期)

■令和3年度島根大学総合博物館アシカル講座第1ステージ「ぶらり探訪・島根半島」（まつえ市民大学連携講座）

主催 島根大学総合博物館・島根大学ジオパークプロジェクトセンター

共催 まつえ市民大学

会場 島根大学生物資源科学部3号館202講義室（松江市西川津町1060）

対象 市民一般・高校生

内容

・「こうしてできた！島根半島」（第119回）

講師 入月俊明（島根大学総合博物館 館長・島根大学学術研究院環境システム科学系 教授）

日時 令和3年5月15日（土）13:00～14:30

・「島根半島の生き物たち」（第120回）

講師 佐藤仁志（(公財)日本野鳥の会 副会長・島根大学 非常勤講師）

日時 令和3年6月12日（土）13:00～14:30

・「島根半島の民俗文化」（第121回）

講師 中野洋平（島根県立大学人間文化学部 准教授）

日時 令和3年8月21日（土）13:00～14:30

・「日本遺産・日が沈む聖地出雲」（第122回）

講師 三原一将（出雲市役所文化財課博物館学芸係 係長）

日時 令和3年9月11日（土）13:00～14:30

評価 対面形式および Youtube によるオンライン形式で実施した。対面参加者は合計でのべ46名、Youtube 視聴回数合計1,018回。

■令和3年度島根大学総合博物館アシカル講座第2ステージ「先史時代の日本列島・朝鮮半島（+北欧）」（まつえ市民大学連携講座）

主催 島根大学総合博物館・島根大学法文学部山陰研究センター「既掘考古資料の集成検討および一括資料群の再検討による山陰地域社会の動態的研究」プロジェクト・島根大学古代出雲プロジェクトセンター

共催 まつえ市民大学

会場 島根大学生物資源科学部3号館202講義室（松江市西川津町1060）

対象 市民一般・高校生

内容

・「栄養面からみる縄文食と先史時代の北欧食」（第123回）

講師 小松彩（ノルウェー トロムソ大学博物館 研究員・島根大学総合博物館 学外協力研究員）

日時 令和3年11月27日（土）13:00～14:30

・「鉄器が変えた！西日本の弥生社会」（第124回）

講師 會下和宏（島根大学総合博物館 教授・副館長）

日時 令和3年12月4日（土）13:00～14:30

・「『伝世鏡論』再考」（第125回）

講師 岩本 崇（島根大学法文学部 准教授・総合博物館 兼任研究員）

日時 令和4年1月8日（土）13:00～14:30

・「弥生・原三国時代の日韓における副葬水晶玉について」（第126回）

講師 平郡達哉（島根大学法文学部 准教授・総合博物館 兼任研究員）

日時 令和4年2月19日（土）13:00～14:30

・「木製品からみた3世紀の出雲と大和」（第127回）

講師 鈴木裕明（奈良県立橿原考古学研究所 調査課長）

日時 令和4年3月19日（土）13:00～14:30

評価 第123～125回は対面形式で実施、第126・127回は新型コロナ第6波流行のため、Zoom

によるオンデマンド形式で開催した。参加者は合計でのべ131名。

#### ■令和4年度島根大学総合博物館アシカル講座第1ステージ「学びあれば憂いなし！山陰の自然災害」(まつえ市民大学連携講座)

主催 島根大学総合博物館・島根大学自然災害軽減教育研究センター

共催 まつえ市民大学

会場 島根大学生物資源科学部3号館202講義室(松江市西川津町1060)

対象 市民一般・高校生

内容

- ・「島根県にも津波はやって来る！山陰地域の津波の履歴」(第128回)  
講師 酒井哲弥(島根大学総合理工学部教授・島根大学自然災害軽減教育研究センター長)  
日時 令和4年6月11日(土) 13:00～14:30
- ・「これからの川との付き合い ～正しく知り、正しく恐れる～」(第129回)  
講師 矢島啓(島根大学エスチュアリー研究センター教授)  
日時 令和4年7月9日(土) 13:00～14:30
- ・「島根県内の土砂災害の特徴について」(第130回)  
講師 小暮哲也(島根大学総合理工学部准教授)  
日時 令和4年7月23日(土) 13:00～14:30
- ・「山陰で確認されている活断層の分布と地震」(第131回)  
講師 向吉秀樹(島根大学総合理工学部准教授)  
日時 令和4年8月6日(土) 13:00～14:30
- ・「山陰にも大きな被害を与えた太平洋側の巨大地震」(第132回)  
講師 林広樹(島根大学総合理工学部准教授)  
日時 令和4年8月27日(土) 13:00～14:30
- ・「建築物の地震被害と最新の耐震建築」(第133回)  
講師 中村豊(島根大学総合理工学部教授)  
日時 令和4年9月10日(土) 13:00～14:30

評価 合計参加人数はのべ171名、1回あたりの平均参加人数は28.5名。

#### ■令和4年度島根大学総合博物館アシカル講座第2ステージ「島根半島・宍道湖中海ジオパークを学ぶ」(まつえ市民大学連携講座)

主催 島根大学総合博物館

共催 まつえ市民大学

後援 島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会

会場 島根大学生物資源科学部3号館202講義室(松江市西川津町1060)

対象 市民一般・高校生

内容

- ・「ジオパークの宝石～弥生時代から古墳時代の出雲産玉類」(第134回)  
講師 會下和宏(島根大学総合博物館教授・副館長)  
日時 令和5年2月18日(土) 13:00～14:30
- ・「島根半島・宍道湖中海ジオパークのこれまでとこれから」(第135回)  
講師 辻本彰(島根大学学術研究院教育学系講師)  
日時 令和5年3月18日(土) 13:00～14:30
- ・「宍道湖周辺の地熱・鉱物資源」(第136回)  
講師 大平寛人(島根大学学術研究院環境システム科学系准教授)  
日時 令和5年3月25日(土) 13:00～14:30

評価 合計参加人数はのべ65名、1回あたりの平均参加人数は21.7名。

## ②フィールド体験ツアー

**目的** フィールド体験ツアーは、豊かで多様性のある島根県内の自然・歴史・文化資源をフィールドミュージアムにみたくて、島根大学所有のバスを活用して現地に訪れ、見学する企画である。県内に埋もれた地域資源を再発見してもらうことを目的としている。例年、島根大学が運営する島根大学公開講座の一環として実施している。

(※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

### ■島根大学公開講座・第16回島根まるとミュージアム体験ツアー「出雲大社の境外社に参拝する」

**日時** 令和4年10月16日(日) 9:00～17:00

**講師** 會下和宏(島根大学総合博物館 教授・副館長)

**対象** 20名

**内容** 出雲大社の境外社(境外にある摂社・末社)には、あまり知られていないが県の有形文化財に指定されている建造物などが多くある。こうした境外社を巡り、その歴史や建築について学んだ。

**評価** 参加者は20名。天候にも恵まれ、予定通り参拝することができた。五感で学べる公開講座となった。

## ③親子で学ぶ子どもミュージアム体験教室(小学生向け企画)

**目的** 子どもミュージアム体験教室は、島根大学がもつ研究機器や機材を活用して、小中学生向けに様々なミュージアム体験をしてもらうミュージアム・スタート活動である。児童・生徒たちに、島根大学でどんな研究をしているのか、大学内部の研究施設がどうなっているのかについて理解し

令和3年度 島根大学総合博物館アシカル講座 第1ステージ  
 島根大学  
**ぶらり探訪・島根半島**  
 会場受講 + オンライン受講  
 日本ジオパーク・日本遺産にも登録されている島根半島について、地質学・生物学・歴史学・考古学・民俗学の観点から、学理的に学びます。  
**こうしてできた! 島根半島** (No.119)  
 講師: 入月俊明 (島根大学総合博物館長・宇都宮大学環境システム科学系教授)  
 日時: 令和3年5月15日(土) 13:00-14:30  
**島根半島の生き物たち** (No.120)  
 講師: 佐藤仁志 (公財) 日本野鳥の会副会長・島根大学非常勤講師  
 日時: 令和3年6月12日(土) 13:00-14:30  
**島根半島の民俗文化** (No.121)  
 講師: 中野洋平 (島根県立大学人間文化学専攻講師)  
 日時: 令和3年8月21日(土) 13:00-14:30  
**日本遺産・日が沈む聖地 出雲** (No.122)  
 講師: 三原一樹 (出雲市歴史文化財博物館学芸員)  
 日時: 令和3年9月11日(土) 13:00-14:30  
 オンラインでの受講: ライブ動画配信 (Zoom) / 録画配信 (YouTube) / 音声配信 (Podcast)  
 会場での受講: 島根大学生物資源科学部3号館202教室 (13:00-14:30) / 20名 (先着順) / 事前申し込み制 (満席まで受け付け) / 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策にご協力をお願いします。

令和3年度アシカル講座第1ステージ「ぶらり探訪・島根半島」(R3.5.15～9.11)

令和3年度 島根大学総合博物館アシカル講座 第2ステージ  
 島根大学  
**先史時代の日本列島・朝鮮半島**  
 この講座では、縄文時代から古墳時代内様々な考古学トピックについて、最新の研究成果をもとに解説していきます。日本列島各地、そして朝鮮半島や北風の考古資料も取り上げ、グローバルな視点から考えていきます。  
**第123講 栄養面からみる縄文食と先史時代の北食**  
 講師: 小松 彰 (ソウル大学博物館 研究員・島根大学総合博物館 学術協力研究員)  
 日時: 令和3年11月27日(土) 13:00-14:30  
**第124講 鉄器が変えた! 西日本・朝鮮半島の先史社会**  
 講師: 會下和宏 (島根大学総合博物館 副館長・教授)  
 日時: 令和3年12月4日(土) 13:00-14:30  
**第125講 「伝世鏡論」再考**  
 講師: 岩本 崇 (島根大学文学部 准教授・島根博物館 兼任研究員)  
 日時: 令和4年1月8日(土) 13:00-14:30  
**第126講 弥生・原三国時代の日韓における副葬水晶玉について**  
 講師: 平野 謙 (島根大学文学部 准教授・総合博物館 兼任研究員)  
 日時: 令和4年2月19日(土) 13:00-14:30  
**第127講 木製品からみた3世紀の出雲と大和**  
 講師: 鈴木裕明 (奈良国立博物館 考古学研究所 調査課長)  
 日時: 令和4年3月19日(土) 13:00-14:30  
 会場: 島根大学生物資源科学部3号館202教室 (松江市西川町1060 総合博物館アシカルの上層)  
 定員: 48名 (先着順)  
 ※事前申し込み制 (満席まで受け付け)  
 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策にご協力をお願いします。  
 主催: 島根大学総合博物館・島根大学出雲アシカルセンター  
 島根大学文学部歴史文化学専攻(出雲市)・島根大学総合博物館(松江市)・島根県立歴史民俗学館(松江市)・プロジェクト  
 共催: 出雲市歴史文化財博物館  
 お問い合わせ先: 島根大学総合博物館アシカル TEL 0852-32-6496 メール: museum@ko.shimane-u.ac.jp

令和3年度アシカル講座第2ステージ「先史時代の日本列島・朝鮮半島 (+北食)」(R3.11.27～R4.3.19)



第126回アシカル講座「弥生・原三国時代の日韓における副葬水晶玉について」(R4.2.19、Zoom開催)



夏休み子どもミュージアム体験教室「中海の藻場にすむ生き物を観察しよう！」(R4.8.5)

てもらうことで、将来的な島根大学進学への動機付けにしてもらうこともねらいとしている。

(※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

#### ■夏休み子どもミュージアム体験教室「中海の藻場にすむ生き物を観察しよう！」

日時 令和4年8月5日(金)10:00～12:00

講師 倉田健悟(島根大学生物資源科学部環境共生科学科准教授)

対象 小学3～6年生と保護者10組

内容 中海の藻場であらかじめサンプリングしておいた海藻から生物を抽出し、顕微鏡で観察してもらった。観察した生物を分類し、どのような種類がいたのかについて学習してもらった。

評価 親子や参加者同士でコミュニケーションをはかりながら楽しく学習してもらうことができ、好評だった。

#### ④その他

下記の普及啓発活動について共催・後援した。

#### ■モニュメント・ミュージアム来待ストーン企画展「化石のひみつー化石でわかる島根のジオー」

主催 モニュメント・ミュージアム来待ストーン

後援 島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会・島根半島ジオパークプロジェクトセンター・島根大学総合博物館

日時 令和2年7月15日(水)～9月28日(月)

#### ■モニュメント・ミュージアム来待ストーン2021夏季企画展「もっと知りたい!ジオパーク」

主催 モニュメント・ミュージアム来待ストーン

後援 島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会・島根大学ジオパークプロジェクトセンター・島根大学総合博物館

日時 令和3年7月14日(水)～9月26日(日)

### (7) インターネットを活用した情報発信

#### ①「島根大学標本資料類データベース」のデータ登録・公開

本データベースは、平成23年度島根大学政策配分経費(重点プロジェクト経費<教育改革推進経費>)をもとにシステム構築を行ったもので、総合大学である島根大学が収集してきた植物・藻類・

動物・昆虫・化石・鉱物・岩石・理工系・美術・考古・民俗・記録史料・写真など、様々な分野の標本資料類を収載している。令和4年度も引き続き、昆虫標本を中心とした標本資料類のデータ登録を行った。また、令和4年12月にデータベース・システムのバージョンアップ・改修を行った。

・登録数 13,762件

・URL <http://museum-database.shimane-u.ac.jp/specimen/>

## ②「島根県遺跡データベース」のデータ登録

本データベースは、平成14年度文部科学省地域貢献事業によって島根大学地域貢献協議会が制作した「古代出雲遺跡データベース」を平成15年度文部科学省地域貢献事業によって改修発展させたもので、その後は島根大学総合博物館が追加データを登録するなどして運用してきた。その後、平成28年度、データベース・プログラムに脆弱性が指摘されたため、平成29年度島根大学戦略的機能強化推進経費の配分を受けて、半年かけてシステムの再構築をはかった。平成30年3月末に作業を完了し、平成30年4月から一般公開を再開した。

本データベースは、島根県内の遺跡・遺構・遺物・遺跡調査・遺跡文献について網羅的に検索することができる。また、文献データは、奈良文化財研究所が運用する全国遺跡報告総覧にリンクが張られており、最終的にPDFデータまでたどり着くことができる。

令和2～4年度は、令和4年3月までに刊行された遺跡発掘調査報告書のデータを整理し、データベースに収載した。令和5年3月31日時点で、118万8,546回のアクセス数をカウントしており、使用頻度はきわめて高い。

・登録遺跡数 遺跡データ 11,506件・遺構データ 9,464件・遺物データ 12,048件・調査データ 3,024件・文献データ 2,685件

・URL <http://iseki.shimane-u.ac.jp/>

・アクセス数 118万8,546(平成15年3月31日～令和5年3月31日、「古代出雲遺跡データベース」公開以来の累計数)

## ③「島根まるごとミュージアム」のシステム構築とデータ登録

本データベースは、島根県内にある様々な地域資源（自然遺産・文化遺産・産業遺産など）をキーワードや地図上で検索できるシステムである。令和3年度島根大学戦略的機能強化推進経費の配分を受けてシステムを構築し、令和4年3月7日に一般公開した。

・登録数 600件

・URL <http://museum-database.shimane-u.ac.jp/marugoto/>



「島根まるごとミュージアム」トップ画面

## 5 本学構内の埋蔵文化財の取扱い

### (1) 島根大学構内遺跡第 15 ～ 22 次発掘調査の整理・研究

島根大学構内遺跡第 15 ～ 22 次調査などの出土遺物実測・トレース、遺構図面トレース、出土材化石のプレパラート標本化といった室内整理作業を進めた。

## 6 島根大学旧奥谷宿舎（総合博物館分館）の活用

島根大学旧奥谷宿舎（総合博物館分館）は、1924（大正 13）年 11 月竣工の旧制松江高等学校外国人教師（独語教師）宿舎で、国登録有形文化財にも登録されている。平成 21 年 10 月に修復工事を終え、サテライトミュージアムとしてオープン、令和元年 10 月で 10 周年を迎えている。

令和 2 ～ 4 年度も引き続き、1 階常設展示室では、「写真が語る島根大学の歴史と旧奥谷宿舎」を一部展示替えしつつ開催したほか、1 階多目的室を中心に総合博物館による企画展示などを行った。このほか、地域貢献事業の一環として、学内外団体との共催による様々なイベント（作品展など）を開催し、持続的に集客できる施設にするよう努めた。

### ① 展示活動

- ・令和 2 年 11 月 7 日（土）～ 12 月 6 日（日） 旧制松江高等学校創立 100 周年記念展示「嵩のふもとに」（Ⅱ期）
- ・令和 3 年 4 月 17 日（土）～ 6 月 27 日（日） 島根大学総合博物館ミニ企画展「旧制松江高等学校写真展 in 島根大学旧奥谷宿舎」（松江歴史館企画展「旧制松江高等学校」コラボ企画）
- ・令和 4 年 4 月 23 日（土）～ 6 月 26 日（日） 島根大学旧奥谷宿舎写真展「ハンス・シュワルベ博士がいた頃」
- ・令和 4 年 7 月 16 日（土）～ 9 月 4 日（日） 「#カিজユウ展 2022」（学外団体主催）

### ② 授業での活用

- ・令和 3 年 11 月 5 日（金） 教養授業「地域博物館へのいざない」
- ・令和 4 年 7 月 20 日（水） 建築物実測調査の実習（総合理工学部建築デザイン学科）
- ・令和 4 年 7 月 28 日（木） 建築物実測調査の実習（総合理工学部建築デザイン学科）
- ・令和 4 年 10 月 28 日（金） 教養授業「地域博物館へのいざない」



島根大学旧奥谷宿舎  
(R3.11.5)



写真展「ハンス・シュワルベ博士がいた頃」  
(R4.4.23)

## 7 マスコミ報道状況

- ・令和2年8月5日 山陰ケーブルテレビジョン・マーブル・番組名「まるまる松江」(2020年度島根大学総合博物館アシカル企画展「大集合！松江・出雲の化石展」)
- ・令和2年9月10日 読売新聞「クジラやサメ 身近な化石 島大の博物館 触れるコーナーも」(2020年度島根大学総合博物館アシカル企画展「大集合！松江・出雲の化石展」)
- ・令和2年9月12日 朝日新聞「松江・出雲の化石を展示 島根大総合博物館で企画展」(2020年度島根大学総合博物館アシカル企画展「大集合！松江・出雲の化石展」)
- ・令和2年9月25日 山陰中央新報「化石 動きだしそう 島根大博物館」(2020年度島根大学総合博物館アシカル企画展「大集合！松江・出雲の化石展」)
- ・令和3年5月11日 山陰ケーブルテレビジョン・マーブル・番組名「まるまる松江」(第119回島根大学総合博物館アシカル講座「こうしてできた！島根半島」)
- ・令和3年9月3日 山陰ケーブルテレビジョン・マーブル・番組名「まるまる松江」(2021年度島根大学総合博物館アシカル企画展「鑪(たたら)×TATARA」)
- ・令和3年9月14日 読売新聞「日本遺産知識深め」(第122回島根大学総合博物館アシカル講座「日本遺産・日が沈む聖地出雲」)
- ・令和4年4月25日 読売新聞「シュワルベ博士写真展でたどる 旧制松江高で独語教師」(島根大学旧奥谷宿舍写真展「ハンス・シュワルベ博士がいた頃」)
- ・令和4年6月12日 山陰中央新報「山陰沖地震なら津波「すぐ到達」 松江、島根大教授講演」(第128回島根大学総合博物館アシカル講座「島根県にも津波はやって来る！山陰地域の津波の履歴」)
- ・令和4年8月28日 山陰中央新報「太平洋の巨大地震 両県は液状化被害 島根大・林准教授が講演」(第132回アシカル講座「山陰にも大きな被害を与えた太平洋側の巨大地震」)

## 8 総合博物館専任教員の活動記録

會下和宏 EGE Kazuhiro 学術研究院 人文社会科学系 教授

### ①著書・論文など

- ・会下和宏,・高安克己 2020.8「後期旧石器時代から弥生時代における宍道湖・中海周辺地域の遺跡分布と変遷」『島根大学研究・学術情報機構 総合博物館年報 平成 29・30・31 (令和元) 年度』島根大学研究・学術情報機構総合博物館 pp.50-59
- ・会下和宏 2020.12「弥生時代の中国地域における鉄器普及の様相」『山陰研究』第 13 号 pp.43-68
- ・会下和宏 2021.7「ベトナム交趾郡治・ルイロウ内城の復元」『国際学術シンポジウム I インフラからみた古代東アジア都市の展開資料集』pp.71-76
- ・会下和宏 2022.5「山陰地域における標高 0 m 前後の遺跡の様相」『博古研究』第 62 号 pp.19-32・会下和宏 2022.6「書評 宇垣匡雅著『楯築墳丘墓』」『考古学研究』69-1 pp.65-67
- ・会下和宏・木下保明 2022.12「ベトナム交趾郡治・ルイロウ内城の変遷」『古代東アジア都市の構造と変遷』同成社 pp.197-215
- ・会下和宏 2023.3「弥生時代の鉄器流通からみた山陰と吉備」『古代出雲と吉備の交流』島根県古代文化センター研究論集第 30 集 pp.29-43
- ・会下和宏 2023.3「日本海沿岸地域における弥生時代の水辺の祭祀」『島根考古学会誌』第 40 集 pp.49-54

### ②学会発表など

- ・会下和宏 2020.8「弥生時代鉄器の様相 -中国地方を中心に-」『島根県古代文化センターテーマ研究「古代出雲と吉備の交流」第 2 回検討会』（於・島根県埋蔵文化財調査センター）
- ・会下和宏 2021.2.3「弥生時代における鉄器の流通」『第 44 回山陰研究交流会』（於・島根大学、Zoom 発表）
- ・会下和宏・木下保明・黄曉芬 2021.5.23「ベトナム交趾郡治・ルイロウ城址築城の変遷」『一般社団法人日本考古学協会第 87 回 (2021 年度) 総会研究発表会 (ポスターセッション)』（Web 発表）
- ・会下和宏 2021.7.17「ベトナム交趾郡治・ルイロウ城の復元」『国際学術シンポジウム I「インフラからみた古代東アジア都市の展開」』（於・東亜大学、Zoom 発表）
- ・会下和宏 2022.3.8「弥生時代の西日本における鉄器の流通」『島根県古代文化センターテーマ研究「島根県域における弥生社会の総合的研究」第 2 回検討会』（於・島根県埋蔵文化財調査センター）
- ・会下和宏 2023.1.8「弥生時代の西日本における鉄器の流通」『島根考古学会 1 月例会』（於・島根県民会館）

### ③学内兼任

- ・島根大学エスチュアリー研究センター兼任教員
- ・島根大学古代出雲プロジェクトセンター兼任教員（令和 3 年度まで）
- ・島根大学ジオパークプロジェクトセンター兼任教員（令和 3 年度まで）
- ・島根大学国際観光教育推進センター兼任教員（令和 4 年度）

### ④社会的活動（島根大学総合博物館主催のものは省略）

- ・講師「第 3 回・国引き神話と文化サイト」『島根半島・宍道湖中海ジオパークジオガイド養成講座（はじめの一步コース）』島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催（2020.7、松江市市民活動センター）
- ・講師「縄文から弥生時代の景観と遺跡」『まつえ市民大学 ふるさと探求コース』まつえ市民大学主催（2021.1、松江市市民活動センター）
- ・講師「松江歴史探索」『尚風館中等課程』ごうぎん島根文化振興財団・尚風館主催（2021.5、松江市石橋町・奥谷町）
- ・講師「松江歴史探索」『尚風館中等課程』ごうぎん島根文化振興財団・尚風館主催（2022.5、松江市石橋町・奥谷町）
- ・講師「国引き神話と文化サイト」『令和 4 年度ジオガイド養成講座（はじめの一步コース）』主催者：島根半島・宍道湖中海ジオパーク推進協議会主催（2022.8、松江市市民活動センター）
- ・講師「鉄器の流通からみた弥生時代の出雲と吉備」『島根県立古代出雲歴史博物館企画展『出雲と吉備』関連講座

- ・ 第2回『鳥根県立古代出雲歴史博物館・鳥根県古代文化センター主催（2022.10、鳥根県立古代出雲歴史博物館）』
- ・ 講師「沖丈遺跡の特徴と保存活用について」『美郷町 美郷大学』美郷町教育委員会主催（2022.12、美郷町みさと館）
- ・ 講師「鉄器の流通からみた弥生時代の出雲と東アジア」『まつえ市民大学 ふるさと探求コース』まつえ市民大学主催（2023.1、松江市民活動センター）
- ・ 鳥根考古学会 幹事
- ・ 出雲弥生の森博物館運営協議会 会長
- ・ 日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会 委員
- ・ 鳥根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク運営協議会専門部会 委員
- ・ 鳥根県古代文化センター 客員研究員
- ・ まつえ市民大学運営協議会 委員
- ・ 石見銀山街道保存活用計画策定委員会 委員 2018.12～2021.3
- ・ 神後田遺跡発掘調査指導委員会 委員 2019.7～2020.6
- ・ 鳥根県文化財保護審議会 委員 2022.1～
- ・ 美郷町文化財保存活用地域計画作成委員会 委員 2022.7～
- ・ 史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡整備検討委員会 委員 2023.1～

## ⑤担当授業

### 【学芸員に関する科目（総合博物館開講）】

- ・ 「博物館概論A」
- ・ 「博物館概論B」（令和2・3年度）
- ・ 「博物館資料論」
- ・ 「博物館資料保存論」（分担）
- ・ 「博物館展示論A」
- ・ 「博物館教育論A」
- ・ 「博物館教育論B」（令和2・3年度）
- ・ 「博物館教育論」
- ・ 「博物館情報・メディア論A」
- ・ 「博物館情報・メディア論B」
- ・ 「博物館実習Ⅰ」（鳥根大学法文学部学生向け）
- ・ 「博物館実習Ⅱ」（鳥根大学法文学部・総合理工学部学生向け、分担）
- ・ 「博物館実習Ⅲ」（鳥根大学法文学部・総合理工学部学生向け）

### 【全学共通教育科目】

- ・ 「地域博物館へのいざない」（総合博物館開講、分担）
- ・ 「フィールドで学ぶ『斐伊川百科』」（分担）
- ・ 「ジオパーク学入門」（分担）
- ・ 「ジオパーク学各論」（分担）
- ・ 「観光の展開 - 新しい観光の発掘 -」（分担、令和4年度）

### 【専門教育科目】

- ・ 「材料科学から社会を見る」（総合理工学部開講、分担、令和3・4年度）

### 【大学院教育科目】

- ・ 「資料保存論」（人間社会科学研究科開講、分担、令和3・4年度）